



TOHOKU
UNIVERSITY

令和4年10月入学

外国人留学生特別選抜 学生募集要項

医科学専攻博士課程
(医学履修課程)

郵送書類受付期間 【出願フォーム受付期間】	令和3年12月13日(月)～12月24日(金) 【令和3年12月10日(金)～12月22日(水)】
入学試験	令和4年1月20日(木)
合格者発表	令和4年2月10日(木)
入学日	令和4年10月1日

入学資格審査 申請受付期間	令和3年11月10日(水)まで ※該当者のみ
------------------	------------------------

東北大学大学院医学系研究科

令和3年(2021年)10月

アドミッション・ポリシー

【医学系研究科】

東北大学大学院医学系研究科は、医学系領域に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える旺盛な探求心並びに高い使命感・倫理観を有し、先進的、学際的及び創造的に医学系領域に関する諸問題の解決を具体的に推進しうる、国際的に通用する優れた研究者、高度職業人の育成を目指します。

具体的には、旺盛な探求心並びに高い使命感・倫理観に支えられた専門的知識と技能をもって、日本及び世界の人々の健康及び福祉の増進への寄与を目指し医学系領域の新たな発展に貢献する豊かな人間性を備えた研究者、高度職業人、または教育者を志す人を求めます。

このため、学生の受け入れにあたっては、一般選抜、社会人特別選抜(博士課程(医学履修課程)のみ)及び外国人留学生特別選抜(博士課程(医学履修課程)及び博士課程後期3年の課程のみ)に加えて、特別選抜(公衆衛生学専攻修士課程の一部のコースのみ)の枠を設けて入学試験を実施し、これらの教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。

医科学専攻 博士課程(医学履修課程)

一般選抜試験、社会人特別選抜試験及び外国人留学生特別選抜試験では、外部検定試験スコアによる英語力の評価と、専門的知識・思考能力・志望動機・適性並びに出願書類の記載内容を評価する口頭試問を行い、特に自立して研究活動を行い、又は専門的な業務に従事するために必要な高度な研究能力を備えた医学研究者を目指す人を重視して選抜を行います。6年制大学卒業生あるいは修士課程修了生に相当する英語力、志望する専攻・分野に関連する基本的な高度専門知識や思考能力、具体的な志望動機、修学に相応しい適性について、本研究科が定めた基準を上回ることが必要で、特に口頭試問の結果を重視して選抜します。

なお、入学前に基本となる高度な専門的知識や英語力を身につけておくことを推奨します。

東北大学大学院医学系研究科医科学専攻博士課程（医学履修課程）外国人留学生特別選抜では、次の要領で学生を募集します。

1 募集人員 若干人

上記の募集人員は一般コースのほか、分子イメージング教育コース、腫瘍専門医養成コース、医学物理士養成コース、総合診療研究医コース、医療 AI 人材養成コース、災害保健医療研究医コース、Network Medicine Course を含みます。

2 専攻 医科学専攻

※ 教育・研究領域、分野、教育コース等については、本募集要項の「専門分野一覧」並びに東北大学大学院医学系研究科ウェブサイトに掲載の「研究領域検索」を参照してください。

研究領域検索 http://www.med.tohoku.ac.jp/about/laboratory/areas_index.html

3 出願資格

博士課程（医学履修課程）に出願できるのは、日本国籍を有さず、在留資格が「留学」である者又は入学時に「留学」の在留資格を取得見込みの者で、次の各号のいずれかに該当する者です。

なお、日本国と他国との多重国籍者及び日本国の永住許可を得ている者は出願できません。

- (1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和 4 年 9 月末日までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 18 年の課程を修了した者及び令和 4 年 9 月末日までに修了見込みの者
- (3) 修士課程、博士課程前期 2 年の課程又は専門職学位課程を修了した者及び令和 4 年 9 月末日までに修了見込みの者で、本大学院において、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者等、昭和 30 年 4 月 8 日文部省告示第 39 号により文部科学大臣の指定した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 18 年の課程を修了した者及び令和 4 年 9 月末日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 4 年 9 月末日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 5 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 4 年 9 月末日までに授与見込みの者
- (7) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に 4 年以上在学した者、外国において学校教育における 16 年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。以下この号において同じ。）を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することに

より、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの及び令和 4 年 9 月末日までに在学又は修了見込みの者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得するものと認めたもの

- (8) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により他の大学院（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）に入学した者であって、本大学院においてその教育を受けるのにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 4 年 9 月末日までに 24 歳に達するもの

[注 1] 出願予定者は、受験について、事前に志望分野の指導教授に受験を希望する旨を連絡し、出願に対する了承を得てください。

[注 2] 事前に出願資格について医学部・医学系研究科教務課大学院教務係へ照会してください。（入学資格審査を必要とする場合があります。）

[注 3] 出願資格(1), (7)及び(9)の「大学」とは、我が国における 6 年制大学を指します。

[注 4] 出願資格(2)の 18 年の課程とは、最終学歴が 6 年制大学を指します。

[注 5] 出願資格(3)の「修士課程、博士課程前期 2 年の課程又は専門職学位課程」とは、我が国における大学院の修士課程、博士課程前期 2 年の課程又は専門職学位課程を指します。

[注 6] 出願資格(6)に該当する者については、事前に出身大学又は出身学校について、医学部・医学系研究科教務課大学院教務係で確認を受けてください。

a 確認受付期間 令和 3 年 11 月 10 日（水）まで

b 確認を希望する者は、下記 URL に掲載の必要書類を揃えて医学部・医学系研究科教務課大学院教務係に提出してください。

入学資格審査等申請関係 <http://www.med.tohoku.ac.jp/admissions/grad/applicant/>

[注 7] 出願資格(7), (8)又は(9)に該当する者については、出願する前に、入学資格の審査を受け、その結果に基づき出願してください。

a 入学資格審査申請受付期間 令和 3 年 11 月 10 日（水）まで

b 入学資格審査申請を希望する者は、下記 URL に掲載の必要書類を揃えて医学部・医学系研究科教務課大学院教務係へ提出してください。

入学資格審査等申請関係 <http://www.med.tohoku.ac.jp/admissions/grad/applicant/>

4 出願手続

出願者は、本研究科 WEB サイトから必要書類をダウンロードし、以下の(3)の出願書類等を整えて、出願期間内に提出するとともに、出願情報を出願フォームへ入力・送信（期限：12 月 22 日（水）17 時）してください。【締切厳守】

なお、出願フォームへの入力・送信及び入学検定料の払込だけでは出願は完了しません。必ず、出願期間内に必要書類を**速達書留**で郵送してください。

また、「志望分野等」の研究内容を十分に理解した上で、出願前に「志望分野等」の指導教授に対して、受験する旨を直接連絡し、出願に対する了承を得てください。

(1) 出願期間

令和 3 年 12 月 13 日（月）から 12 月 24 日（金）

(3)の「出願フォームでの出願情報の入力・送信」を行った後に、書類を郵送してください。

窓口での受付時間は、午前 9 時から午後 0 時 45 分までと、午後 1 時 45 分から午後 5 時までとします。

なお、下記の日時は受け付け及び問い合わせの対応ができません。

- ・平日の午後0時45分から午後1時45分
- ・平日の午後5時から翌日の午前9時
- ・土・日・祝日

また、上記の出願期間後に郵送により出願書類等が到着した場合は、12月24日（金）までの発信局消印のある場合に限り受け付けます。外国から出願書類等を送付する場合には、郵送に加え、全ての書類を電子ファイルにて送付してください。

(2) 出願書類送付先

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2番1号

東北大学医学部・医学系研究科教務課大学院教務係 TEL (022) 717-8010

e-mail: m-daigakuin@grp.tohoku.ac.jp (電子ファイル送信先)

(3) 出願書類等

●出願フォームでの出願情報の入力・送信

必要書類等	摘 要
入学願書・履歴書	出願フォームに入力・送信すること。(印刷・提出不要) https://forms.gle/46vTEAUwGDyAMEis7 *入力期限 12月22日(水)17時
オンライン受験情報届	出願フォームに入力・送信すること。(印刷・提出不要) https://forms.gle/L9qLcgAb6csFZMuP8 *入力期限 12月22日(水)17時 *入力後に、記載内容に変更が生じた場合は、1月7日(金)17時まで再度入力してください。

※ 出願フォームは、入力内容の一時保存ができませんので、入力時間を確保した上で入力するなど留意してください。

※ 海外在住により、フォームへの入力が不可能な方は、教務課大学院教務係までご相談ください。

●郵送書類等 (白色(再生紙可)のA4用紙に片面印刷してください。)

必要書類等	摘 要
志望の動機・理由と抱負について	本研究科所定の用紙(本研究科ウェブサイトよりダウンロード) *1,000字程度
受験票・写真票	本研究科所定の用紙(本研究科ウェブサイトよりダウンロード) *写真(縦4cm×横3cm)の裏に氏名を記入し、写真表に貼ること *出願前3か月以内に撮影した上半身無帽、正面向きであること
願書用本人写真	1枚 *写真票と同じ写真の裏に氏名を記入し、 <u>同封</u> すること。
成績証明書	出身大学(学部)長が作成したもの。 *医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程以外の課程を卒業した者で、大学院修士課程、博士課程前期課程又は専門職学位課程を修了した者は、出身大学(学部)の成績証明書に加えて、出身大学院(研究科)の成績証明書を併せて提出すること。 *本学医学部・医学系研究科出身者は、本学医学部または医学系研究科の証明書に限り提出不要です。

卒業（見込）又は 修了（見込）証明書	<p>出身大学（学部・研究科）長が作成したもの。 * 本学医学部・医学系研究科出身者は、本学医学部または医学系研究科の証明書に限り提出不要です。</p>
<p>英語のスコアシート</p> <p>（ * 外国語(英語)の成績評価を TOEIC, TOEFL, IELTS, 又は Duolingo English Test のいずれかの成績で行います。）</p>	<p>入学試験実施日から過去 2 年以内に受験した TOEIC テスト, TOEFL iBT (TOEFL PBT も可)、TOEFL iBT Home Edition、IELTS (アカデミック・モジュール) 又は Duolingo English Test のいずれかのスコアを証明する書類 (スコアシート) を提出すること。</p> <p>* 団体受験用の TOEFL ITP 及び TOEIC IP テストは認めません。 * TOEIC は、Official Score Certificate (公式認定証) のオリジナルを郵送時に提出してください。 * TOEFL は、Test Taker Score Report (受験者用控えスコアレポート) または Official Score Report (公式スコアレポート) のオリジナルを郵送時に提出すること。</p> <p>* TOEFL iBT®のスコアシートを送付する際の D I コードは、「3 3 3 2」です。 * IELTS は、IELTS 公式の成績証明書 (Test Report Form) のオリジナルを出願郵送時に提出してください。 * Duolingo English Test は受験後、出願先の学校を選択するように通知されるので、本研究科を選択してください。<u>成績判定まで時間を要し、テストが認定されない場合がありますので、余裕をもって受験してください。</u> * 一度提出されたスコアシートは原則返却しませんが、TOEFL[受験者用控えスコア票]に限り、出願時に申し出があれば後日返却します。 * 出願時における複数のスコアシートの提出を認めますが、一度提出したスコアシートの差替え等は一切認めません。 * スコアシート (原本) の提出が難しい場合には、インターネット表示等によるテスト結果のコピーを提出し、後日スコアシートと差し替えることを認めます。ただし、提出したテスト結果のコピーと同内容のものに限ることとし、高得点のテスト結果と差し替えることはできません。</p> <p>※TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP 及び TOEIC はエデュケーションナル テスティング サービス(ETS) の登録商標です。</p>
オンライン受験に 関する誓約書	<p>本研究科所定の用紙 (本研究科ウェブサイトよりダウンロード) * 記載内容を確認し、誓約日を記入及び署名をしてください。</p>
在留カードの写し (該当者のみ)	<p>出願の時点で、本邦に在留している外国人で入学を志願する者 (在留期間が 90 日を超える者) は、在留カードの写し (表面、裏面とも) を提出すること。</p>
検 定 料	<p>入学検定料 30,000 円 検定料は、ATM(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入してください。</p> <p>※ 振込依頼人名は、必ず出願者本人のカナ氏名を登録してください。 ※ 振込手数料については、出願者本人負担となります。</p> <p>金 額：30,000 円 納入期限：12月24日(金)【期限厳守】 銀 行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支 店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259131 口座名義：国立大学法人東北大学 カ ナ：ダイトホクダ イク</p>

	<p>① 令和4年9月に本学大学院修士課程、博士課程前期2年の課程又は専門職学位課程を修了見込みの者は、検定料は不要です。</p> <p>② 国費外国人留学生は納付不要です。</p> <p>③ 令和3年度(2021年度)に発生した風水害等の災害により被災した受験生に対して、検定料免除の特別措置を講じます。該当する者は、手続きをしてください。免除の手続きをする者は、検定料の支払いは不要です。 https://www.med.tohoku.ac.jp/admissions/grad/applicant/doc/210517kentei.pdf</p> <p>④ 海外在住の方で、検定料を納付することが困難な場合は、クレジットカードでの支払いが可能ですので、出願前に本研究科大学院教務係までお問い合わせください。</p>
検定料納付確認書	<p>本研究科所定の用紙(本研究科ウェブサイトよりダウンロード) 振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを検定料納付確認書に貼り付けてください。</p> <p>例: ATMの利用明細(写)、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー</p> <p>① 令和4年9月に本学大学院修士課程、博士課程前期2年の課程又は専門職学位課程を修了見込みの者は、検定料は不要です。</p> <p>② 国費外国人留学生は提出不要です。</p> <p>③ 検定料免除の手続きをする者は、検定料納付確認書の提出は不要です。</p>
受験票送付用封筒	市販の長形3号(長3)封筒(長辺23.5cm、短辺12cm)に、送付先住所、氏名及び郵便番号を明記し、94円分の切手を貼って同封すること。
合格通知用封筒	市販の角形2号(角2)封筒(長辺33.2cm、短辺24cm)に、送付先住所、氏名及び郵便番号を明記し、同封すること。(切手不要)
入学手続書類送付用封筒	市販の角形2号(角2)封筒(長辺33.2cm、短辺24cm)に、送付先住所、氏名及び郵便番号を明記し、同封すること。(切手不要)

(4) 注意事項

- ① 書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備のある場合は、出願書類を受け付けませんので注意してください。
- ② 記載事項に虚偽の記入をした場合は、合格の取り消しまたは入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ③ 検定料は、事由のいかんにかかわらず返還しません。
- ④ 入学資格審査の判定結果により出願資格を有すると認定された者は、通知書のコピーを同封してください。
- ⑤ 受付後の出願取下げ及び出願書類の記載内容の変更は認めません。
- ⑥ 出願書類等は、事由のいかんにかかわらず一切返還しません。

5 選考方法

- (1) 入学者及び進学者の選考は、TOEIC、TOEFL、IELTS等の英語外部試験の成績、出願書類の記載内容及びオンラインによる口頭試問の成績を総合して行います。
口頭試問では、志望分野に関する学問の基礎的学力や志望分野への適性を評価します。

(2) 試験の日時及び科目

期 日	区 分	時 間	試 験 科 目
令和 4 年 1 月 20 日 (木)	口 頭 試 問	10 : 00 ~	基礎的な専門知識等の 試問及び面接

※ 筆記試験は実施しません。

※ 口頭試問の時間割及び実施方法は、後日個別に送付します。

(3) 外国語（英語）の成績評価

出願時に提出された成績を一般的な方法により換算し、得点を算出します。複数の成績を提出した場合、換算後の得点で最も高いものを採用します。

6 試 験 場

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、試験場は受験者各自の自宅内等の個室とします。

自身でオンライン試験に対応する機器や受験環境を整え、受験くださるよう強くお願いいたします。

なお、やむを得ない事情により、どうしても自身で必要な機器や受験環境を整えることができない方に限り、医学系研究科内の所定の場所からのオンライン受験を可とします。

ただし、医学系研究科内において受験する場合、当日の受付において、発熱、咽頭痛、倦怠感、あるいは味覚嗅覚異常等の体調に異変がある方は、来学されても入場できませんのでご注意ください。入場できない方への試験室及び機器等の貸し出し等はありません。

※ 本研究科において、新型コロナウイルス感染症流行に伴う諸事情から、医学系研究科内での受験が安全・公正に実施できないと判断した場合には、本研究科内への来場を禁止し、自宅等でのオンライン試験を徹底するなどの変更が生じることがあります。変更する場合は、事前に登録された志願者のメールアドレスへの一斉配信を行うほか、本研究科ウェブサイトにより周知しますのでご注意ください。

【利用機器、環境について】

- ① 試験当日はモニターに顔を映して受験していただきます。ウェブカメラとマイクを装備している PC、タブレット、スマートフォン等をご利用ください。できるだけビデオカメラ映像や音声スムーズで鮮明な機器を用いてください。ヘッドセットやマイク付きイヤホン、外付けマイク等を用いても構いません。
- ② Zoom を用いて通信しますので、Zoom の最新バージョンをインストールしてください。また、事前に Zoom ミーティングを練習し、操作に慣れておいてください。モニターには氏名も表示していただきますので、Zoom の「自分のプロフィール」には、必ずご自身の氏名(受験票と同一)を登録しておいてください(ニックネーム、イニシャル等は不可)。なお、試験中のバーチャル背景の使用は禁止します。
- ③ 自宅内・職場内・ホテル部屋内などで、静寂で、声を出しても問題がなく、近くに人がいない環境を準備ください。
- ④ 安定した通信環境(安定した Wi-Fi 通信あるいは有線 LAN 接続通信)を準備ください。通信環境がない場合には、レンタル Wi-Fi などの活用も検討してください。また、準備した PC 等が繋がらない場合がありますので、複数のデバイスを準備してください。なお、飲食店・コンビニ・インターネットカフェ・公共機関(大学構内研究室を除く)などのオープンスペースでの受験は認めません。

【オンライン試験当日の流れ】

- ① 試験開始時間の 10 分前に、Zoom (ID・PW は後日案内します) で待機してください。
Zoom にアクセスできない場合は、緊急連絡先(後日案内します)に電話をかけ、指示に従ってくだ

さい。

- ② 前の受験者が Zoom から退出した後、Zoom の入室が許可されますので、お待ちください。
遅刻した場合は、受験を認めません。
- ③ 入室後は面接員の指示に従ってください。
- ④ 面接員から試験終了の合図がありましたら、退出し試験終了となります。

【やむを得ない事情により、本学で受験する場合】

- ① 試験開始時間の 20 分前に、指定された場所（後日案内します）で受付し、待機してください。
遅刻した場合は、受験を認めません。
- ② 誘導担当者の案内に従い、オンライン試験を受ける部屋に移動します。
- ③ PC 前に着席したら、上記【オンライン試験当日の流れ】により試験を実施します。

【不正防止】

不正防止の観点から、以下の点にご協力ください。不正行為が確認された場合には、たとえ入学後であっても入学を取り消します。

- ① 別添の「オンライン受験に関する誓約書」を出願書類と一緒に提出して下さい。
- ② 不正行為の確認のため、面接員が試験の様子を録画する場合があります。
- ③ 当日は本人確認のため、受験票以外にも本人を証明する顔写真入りの証明書（免許証、パスポート、マイナンバーカード、学生証等）の提示を求めることがありますので、準備しておいてください。
- ④ 試験中は、顔から両肩までカメラに映るよう、カメラの位置を調整してください。視線や手の動きが不自然な場合や、顔が画面から隠れるようなことがあれば、不正を疑います。筆記用具など口頭試験に関係ないものは、片付けてください。
- ⑤ 試験の様子を録音・録画しないでください。発覚した場合は不正行為とみなします。
- ⑥ 試験終了後に試験の内容を一切口外しないでください。

7 合格者発表及び入学手続

- (1) 合格者の受験番号を、令和 4 年 2 月 10 日（木）午前 10 時頃に、ウェブサイトに表示するとともに、合格者に対して「合格通知書」を郵送にて送付します。なお、電話やメール等による入学試験結果の問い合わせには応じられません。
- (2) 合格者には、令和 4 年 9 月上旬に入学手続に関する書類を郵送します。
- (3) 必要経費は次のとおりです。
 - ① 入学料 282,000 円（予定額）
 - ② 授業料後期分 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）注 1. 上記の納付金額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新しい納付金額が適用となります。
注 2. 入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。
注 3. 本学大学院修士課程、博士課程前期 2 年の課程又は専門職学位課程を修了見込みの者は、入学料は不要です。
- (4) 入学日は、令和 4 年 10 月 1 日です。

8 その他

- (1) 「受験票送付用封筒」, 「合格通知用封筒」に記載した宛先は, お問い合わせいただいてもお答えできませんので, 心配な方はご自身で控えておいてください。
- (2) 個人情報の取扱いについて
 - 1) 本学が保有する個人情報は, 「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに, 「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い, 個人情報保護に万全を期しています。
 - 2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は, 入学者選抜の選抜, 入学手続, 入学前教育, 追跡調査等, 入学後の学生支援関係 (奨学・授業料免除及び健康管理等)、修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係、並びに調査・研究 (入試の改善や志望動向の調査・分析等) に利用します。
 - 3) 入試・教務関係の業務については, 本学から業務委託を受けた業者 (以下「受託業者」という。) が行うことがあります。業務委託に当たっては, その必要性に応じて, 「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき, 個人情報の全部または一部を受託業者に提供します。
 - 4) 本学大学院医学系研究科に出願した方は, 上記の記載内容に同意したものとみなします。
- (3) 受験及び修学上の配慮を必要とする方は, 事前に医学部・医学系研究科教務課大学院教務係に相談の上, 申請用紙を請求し, 令和3年12月10日 (金) までに提出してください。

なお, 申請の内容について, 詳しい状況を確認させていただく場合があります。所定の期日を過ぎてから申し出があった場合や, 相談の内容によっては対応できないことがありますので, 可能な限り早めに申し出願します。
- (4) 令和4年10月入学 博士課程 (医学履修課程) 外国人留学生特別選抜に出願する者は, 同日に実施する令和4年度 (第2次) 博士課程 (医学履修課程) に出願することはできません。

東北大学大学院医学系研究科

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2番1号

TEL (022) 717-8010

e-mail : m-daigakuin@grp.tohoku.ac.jp

(東北大学医学部・医学系研究科教務課大学院教務係)

入 学 案 内

1. 目的及び使命

本研究科は、医学研究者の養成を主眼とし、自立して研究活動を行い、又はその他高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、医学の発展と社会福祉の向上に寄与することを使命とします。

2. 修業年限及び履修方法

本研究科の医学履修課程を修了するためには、同課程に4年以上在学し、系統講義コース科目、トレーニングコース科目、アドバンスド講義科目から合わせて30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

ただし、在学期間に関しては、所要単位を修得し、かつ、本研究科委員会が特に優れた研究業績を上げた者と認めた場合には、3年以上在学すれば足りるものとします。

3. 研究指導

本研究科の入学者に対しては、所属する分野等の研究テーマに従い研究指導が行われます。

各分野等の研究テーマは、東北大学大学院医学系研究科ウェブサイトの【研究領域検索】を参照してください。

研究領域検索 http://www.med.tohoku.ac.jp/about/laboratory/areas_index.html

4. 入学料・授業料の免除

(1) 入学料の免除

特別な事情により、納付が著しく困難であると認められる場合には、本人の申請に基づき、入学料の全額または半額を免除することがあります。

(2) 授業料の免除

経済的理由によって、納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、本人の申請に基づき、授業料の全額、半額または3分の1の額を免除することがあります。

詳細は、本学ウェブサイト (<http://www2.he.tohoku.ac.jp/menjo/>) にて確認してください。

5. 長期履修学生制度について

本研究科では、職業を有している等の事情 [注1] により、標準修業年限である4年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了する [注2] ことを願い出た者については、審査の上それを許可することがあります。この制度の適用者を「長期履修学生」といい、当該学生の授業料総支払額は、標準修業年限による修了者と同額になります。

[注1] 該当者：① 企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者

② 出産、育児、介護等を行う必要のある者

③ 専門研修医であること

④ その他本研究科が適当と認める者

[注2] 在学年限は8年を超えることはできませんが、許可された在学年限の短縮を願い出ることにはできますので、長期履修を考えている方は、なるべく入学時から開始できるよう、早めに指導教員と相談することをお勧めします。

[注3] 短縮の際は、授業料が再計算されます。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意しません。

[注4] 長期履修学生制度利用の開始時期は4月または10月からとなります。長期履修学生制度に関する詳細は、入学手続に関する書類でお知らせしますが、下記ウェブサイトからも確認できます。

社会人入学Q & A（長期履修制度とは）

<http://www.med.tohoku.ac.jp/admissions/grad/applicant/>

6. 各コースの紹介

(1) 一般コース

医科学専攻では、医学領域の重大課題の解決に挑戦する人材を育成しています。最先端の医学研究のためには、高度に専門的な知識の獲得や世界水準の研究の理解のみならず、世界中の誰も解明していない重要な課題へ挑戦する強い意欲が重要です。医科学専攻では、各人の個性や才能を活かしつつ、多角的な視点を有する医学系人材を養成するため、「複数教員指導制」の採用や「大学院リトリート」など、多面的な指導体制を充実させ、大学院生の皆さんが能動的に研究を推進できる環境を構築しました。また、共通機器室など研究をサポートする設備が整備されているため、研究室の垣根を越えて、最先端の研究機器を利用した研究ができます。一方、インターネットによるビデオ授業ISTU（Internet School of Tohoku University）で多くの講義を学外から聴講できるため、社会人の方が勤務を継続しながら学位取得を目指すことも可能です。

(2) 分子イメージング教育コース

分子イメージング（Molecular imaging）とは、生物が生きた状態のまま外部から生体内の遺伝子やタンパク質などの様々な分野の挙動を観察する技術で、医学、薬学、工学の新しい境界・複合領域です。Positron Emission Tomography（PET）、Magnetic resonance imaging（MRI）、Optical imagingなどの手法が用いられています。分子イメージングは、これまで、静的、定性的にしか判断できなかった生体内の変化を、分子レベルで可視化することにより動的、定量的に捉えることを可能とするもので、癌やアルツハイマー病などの認知症の超早期診断が可能になる技術として、大きな期待が寄せられています。また、最近では分子イメージングによる画像診断と一体化した分子治療技術（セラノスティクス）の開発と臨床応用も進んでいます。

分子イメージングは、超早期診断法として確立するには工学領域での機器開発、薬学領域での分子プローブの開発、医歯学領域での診断法の開発等様々な研究課題があります。

医科学専攻博士課程「分子イメージング教育コース」プログラムは、これらの最新科学を利用した診断技術を開発するため、放射線医学、核医学、薬理学、腫瘍医学、精神医学など最新医学

だけでなく、さらに薬学、工学、歯学との領域からの学際的アプローチを加味して、人材が不足している分子バイオ・イメージングに関する研究と教育を行います。また、量子科学技術開発機構（QST）量子医科学研究所（旧：放射線医学総合研究所）との連携プログラムもあります。

【放射線診断学分野 高瀬 圭 教授，臨床加齢医学研究分野 瀧 靖之 教授，サイクロトロン核医学講座 田代 学 教授】

(3) 腫瘍専門医養成コース

悪性腫瘍（がん）は、わが国の死亡原因の第1位であり、2人に1人が罹患し、3人に1人が死亡する時代を迎えました。本コースはがん医療に関する専門医を養成することが目的であり、腫瘍専門医養成コースに放射線治療専門医コース（放射線治療上級研究者）及び腫瘍専門医コース（次世代腫瘍内科医，次世代腫瘍外科医，次世代婦人科腫瘍医，次世代緩和ケア医，小児腫瘍医）を設けます。全コースの学生は、がん診療に必要な臨床腫瘍学の総論と各論を系統講義コースで履修し、放射線治療，がん薬物療法，緩和ケアについてトレーニングコースで一定期間実地臨床経験を積むことになります。さらに、論文研究で臨床腫瘍学に関連する論文作成を行うほか、アドバンスド講義コースのがんプロフェッショナル合同セミナーにより、最新のがん医療に関する知識を深めることになります。

腫瘍専門医養成コースを志望する者は、下記サブコース名を入学願書の所定欄に記入してください。

- ① 放射線治療専門医サブコース（放射線腫瘍学分野 神宮 啓一 教授）
- ② 次世代腫瘍内科医サブコース（臨床腫瘍学分野 石岡 千加史 教授）
- ③ 小児腫瘍医サブコース（小児病態学分野 呉 繁夫 教授）
- ④ 次世代婦人科腫瘍医サブコース（婦人科学分野 八重樫 伸生 教授）
- ⑤ 次世代腫瘍外科医サブコース（乳腺・内分泌外科学分野 石田 孝宣 教授）
- ⑥ 次世代緩和ケア医サブコース（緩和医療学分野 井上 彰 教授）

(4) 医学物理士養成コース

放射線医学は先端大型医療機器を駆使して医療に貢献する分野で、医学物理士はそうした機器や技術の開発及び精度、品質管理に携わり、物理・工学的側面から放射線医療の発展に寄与する職種です。医学物理士には医学と物理学の両単位の取得及び臨床経験が必要です。医学・保健学系学部出身者及び理工学部出身者を対象に、研究、教育の素養を持ち、がん診療に携わる他職種、他専門領域とのチーム医療が実践できる医学物理士の養成を目標としています。

【放射線腫瘍学分野 神宮啓一 教授】

(5) 総合診療研究医コース

従来、大学病院と地域病院とでそれぞれ独立に行われてきた先端臨床医学教育、実践的総合診療トレーニング、医療マネジメント学習を、大学病院と地域病院とが一体で実施する。本プログラムにより、地域病院（地域教育拠点）でオンザジョブトレーニングを行いながら「家庭医療専門医」キャリア形成や、先端臨床医学知識の涵養、臨床研究推進などキャリアアップができます。

高度医療の必要性の可否を判断し患者をトリアージしうる最新の知識を有し、医療や介護・福祉からなる地域包括ケアを統括するためのリーダーシップを発揮し、かつ地域発臨床研究を推進

できる「コンダクター型総合診療医」の養成を目標としています。

【総合医療学分野 石井 正 教授】

(6) 医療 AI 人材養成コース

我が国は高齢/高齢化社会、医療者の偏在、働き方改革など多くの医療課題が山積しそれらを克服する必要があります。それらに立ち向かうため、本コースでは「地域ならではの豊富な医療課題をキュレーションし、AI 解決までをデザインできる人材を広く養成すること」を達成目標に掲げ、博士課程人材養成プログラムを全国各地の大学や研究機関、民間企業、自治体と連携し推進します。本カリキュラムでは最先端 AI 研究開発に係る講義から始まり、医療現場での実課題に対しそれらの AI 知見を最適に活用する方法を身に着けます。他大学での医療 AI 関連講義とも相互乗り入れを行い、「Global×Local な医療課題」解決能力を有する「最先端 AI 研究開発人材」を養成することを目標としています。

【AI フロントニア新医療創生分野 田宮 元 教授】

※「志望分野等」の研究内容を十分に理解した上で、出願前に Clinical AI 運営事務局に、受験する旨を連絡してください。

お問い合わせ先 https://www.shp.hosp.tohoku.ac.jp/Clinical_AI/#cu_sec

(7) 災害保健医療研究医コース

様々な災害において、急性期から慢性期までのあらゆるフェーズにおいて専門性の高い医療が求められています。本コースでは、医師を対象として、様々な災害のあらゆるフェーズにおいて実効的対応をチームのコンダクターとして活動できるだけでなく、災害予防、災害医療、災害復興を多角的な視野で科学的に理解し、これらを対象として研究を遂行できる医学研究者の養成を目標としています。

【総合医療学分野 石井 正 教授】

(8) Network Medicine Course

Teaching based on the New Medical Research Paradigm of Network Medicine

Network Medicine is a new medical research paradigm advocated by research groups working at Tohoku University, led by the Graduate School of Medicine. The aim of this novel approach is to develop innovative diagnostic, treatment and prevention strategies based on signal transduction networks and to promote the development of teaching and research applicable to different diseases and areas. Network Medicine has been designated as one of Tohoku University's Global Center of Excellence (COE) programs. The Network Medicine Course offers students the opportunity to be taught in English based on results from this latest frontier of medical research.

医科学専攻博士課程（医学履修課程）

- * 出願にあたっては、事前に指導教授と連絡を取り、了承を得てください。
- * ※印が付された分野は、今回は、募集しません。
- * 研究内容については、東北大学大学院医学系研究科ウェブサイトに掲載の「研究領域検索」をご参照ください。
- * 連携講座における副指導教授は、予告なしに変更になることがあります。

一般：一般コース
 分子：分子イメージング教育コース
 医物：医学物理士養成コース
 総診：総合診療研究医コース
 がん：腫瘍専門医養成コース(がんプロ)
 A I：医療A I人材養成コース
 災研：災害保健医療研究医コース
 NM：Network Medicine Course

初期臨床研修： **A** 初期臨床研修終了者が望ましい、 **B** 初期臨床研修終了者に限る、 **C** 初期臨床研修終了者でなくてもよい

講座等名	分野等名	指導教授氏名 []は副指導教授	受入れコース							初期臨床研修	
			一般	分子	医物	総診	がん	A I	災研		NM
細胞生物学講座	放射線生物学分野	細井 義夫 教授	○							○	C
	器官解剖学分野	大和田 祐二 教授	○							○	C
	細胞組織学分野	出澤 真理 教授	○							○	C
	分子代謝生理学分野	酒井 寿郎 教授	○							○	C
	生物化学分野	五十嵐 和彦 教授	○							○	C
生体機能学講座	医化学分野	山本 雅之 教授	○							○	C
	細胞生理学分野	(兼)虫明 元 教授	※								
	生体システム生理学分野	虫明 元 教授	○					○		○	C
	分子薬理学分野	加藤 幸成 教授	○							○	C
	機能薬理学分野	谷内 一彦 教授	※	※						※	C
病理病態学講座	病態病理学分野	古川 徹 教授	○					○		○	A
	病理診断学分野	笹野 公伸 教授	※							※	C
	微生物学分野	押谷 仁 教授	○							○	C
	免疫学分野	石井 直人 教授	○							○	C
	医用動物学分野	三好 一郎 教授	○								C
	抗体創薬研究分野	加藤 幸成 教授	○							○	C
内科病態学講座	腎・高血圧・内分泌学分野	(兼)張替 秀郎 教授	○							○	A
	血液・免疫病学分野	張替 秀郎 教授	○							○	A
	放射線診断学分野	高瀬 圭 教授	○	○				○		○	C
	放射線腫瘍学分野	神宮 啓一 教授	○		○		○	○		○	A <small>(一般・がんプロ)</small>
	糖尿病代謝内科学分野	片桐 秀樹 教授	○							○	A
	消化器病態学分野	正宗 淳 教授	○							○	A
	循環器内科学分野	安田 聡 教授	○					○		○	C
	総合感染症学分野	(兼)児玉 栄一 教授	○							○	C
	呼吸器内科学分野	杉浦 久敏 教授	○							○	A
	臨床腫瘍学分野	石岡 千加史 教授	○				○	○		○	A
	総合医療学分野	石井 正 教授	○			○			○	※	A
発生・発達医学講座	小児病態学分野	呉 繁夫 教授	○				○			○	A
	婦人科学分野	八重樫 伸生 教授	○				○	○		○	A
	周産期医学分野	(兼)齋藤 昌利 教授	○					○		○	A

- * 出願にあたっては、事前に指導教授と連絡を取り、了承を得てください。
 * ※印が付された分野は、今回は、募集しません。
 * 研究内容については、東北大学大学院医学系研究科ウェブサイトに掲載の「研究領域検索」をご参照ください。
 * 連携講座における副指導教授は、予告なしに変更になることがあります。

一般：一般コース
 分子：分子イメージング教育コース
 医物：医学物理士養成コース
 総診：総合診療研究医コース
 がん：腫瘍専門医養成コース(がんプロ)
 AI：医療AI人材養成コース
 災研：災害保健医療研究医コース
 NM：Network Medicine Course

初期臨床研修： **A** 初期臨床研修終了者が望ましい、 **B** 初期臨床研修終了者に限る、 **C** 初期臨床研修終了者でなくてもよい

講座等名	分野等名	指導教授氏名 []は副指導教授	受入れコース							初期臨床研修		
			一般	分子	医物	総診	がん	AI	災研		NM	
外科病態学講座	消化器外科学分野	海野 倫明 教授 亀井 尚 教授	○							○	A	
	小児外科学分野	和田 基 教授	○							○	A	
	乳腺・内分泌外科学分野	石田 孝宣 教授	○				○			○	A	
	整形外科学分野	相澤 俊峰 教授	○					○		○	A	
	心血管外科学分野	齋木 佳克 教授	○							○	A	
	泌尿器科学分野	伊藤 明宏 教授	○							○	A	
	麻酔科学・周術期医学分野	山内 正憲 教授	○					○		○	A	
	緩和医療学分野	井上 彰 教授	○				○			○	A	
	救急医学分野	久志本 成樹 教授	○					○		○	A	
形成外科学分野	今井 啓道 教授	○							○	A		
神経・感覚器病態学講座	神経内科学分野	青木 正志 教授	○							○	A	
	神経外科学分野	(兼)富永 悌二 教授	○					○		○	A	
	神経外科先端治療開発学 分野	(兼)新妻 邦泰 教授	○					○		○	A	
	精神神経学分野	富田 博秋 教授	○					○	○	○	C	
	皮膚科学分野	(兼)香取 幸夫 教授	○									
	眼科学分野	中澤 徹 教授	○							○	C	
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学 分野	香取 幸夫 教授	○							○	C	
情報健康医学講座 (公衆衛生学専攻教員)	公衆衛生学分野	辻 一郎 教授	※							※	※	A
	医学統計学分野	山口 拓洋 教授	○									C
	医学情報学分野	中山 雅晴 教授	○							○		C
	遺伝医療学分野	青木 洋子 教授	○									A
公共健康医学講座 (公衆衛生学専攻教員)	医療管理学分野	藤森 研司 教授	○							○		C
	環境医学分野	赤池 孝章 教授	○							○		C
	法医学分野	舟山 真人 教授	※									A
	医療倫理学分野	浅井 篤 教授	○							○		C
創生応用医学研究センター	細胞増殖制御分野	中山 啓子 教授	○						○	○		C
	発生発達神経科学分野	大隅 典子 教授	○							○		C
	酸素医学分野	(兼)山本 雅之 教授	○							○		C
	分子病態治療学分野	宮田 敏男 教授	※								※	
	細胞治療分野	阿部 俊明 教授	※								※	C
	移植再生医学分野	後藤 昌史 教授	○							○		C
	神経化学分野	堂浦 克美 教授	○							○		C
	病態神経学分野	北本 哲之 教授	※								※	C
AIフロンティア新医療創生 分野	田宮 元 教授	○						○	○		C	

共同研究講座・寄附講座の紹介

希望により、本研究科に設置されている以下の共同研究講座及び寄附講座の教員から研究指導を受けることができます。

(共同研究講座及び寄附講座を受入れ分野として志望することはできません。)

講 座 名	教 授 名
抗体創薬共同研究講座	(兼) 加藤幸成 教授
先進MRI共同研究講座	(兼) 高瀬 圭 教授
母子ヘルスケア医科学共同研究講座	(兼) 八重樫 伸生 教授 (兼) 齋藤 昌利 教授
女性ヘルスケア医科学共同研究講座	(兼) 八重樫 伸生 教授
漢方・統合医療学共同研究講座	(兼) 石井 正 教授 高山 真 特命教授
循環器先端医療開発学寄附講座	(兼) 齋木 佳克 教授
循環器EBM開発学寄附講座	(兼) 中山 雅晴 教授
視覚先端医療学寄附講座	(兼) 中澤 徹 教授
大動脈疾患治療開発学寄附講座	(兼) 齋木 佳克 教授
スポーツ・運動機能再建医学寄附講座	(兼) 永富 良一 教授
網膜疾患制御学寄附講座	(兼) 中澤 徹 教授
難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携寄附講座	佐藤 文俊 特任教授
眼科画像情報解析学寄附講座	(兼) 中澤 徹 教授
地域総合診療医育成寄附講座	(兼) 石井 正 教授
感染制御インテリジェンスネットワーク寄附講座	(兼) 川上 和義 教授